

ダイアトップ株式会社 一般事業主行動計画

ダイアトップ株式会社は、社員が仕事と子育てを両立させることができ、社員全員が働きやすい環境を作ることによって、すべての社員がその能力を十分に発揮できるよう雇用環境の整備を進めるとともに、次世代を担う子供や子供を育てる活動の支援を行うなど、地域に根ざし、地域に貢献する企業となるため、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間 令和4年4月1日～令和6年3月31日までの 2年間
2. 内容 以下3目標

目標1：「育児休業」や「介護休業」が取得しやすい職場環境を実現する為、各部署における業務の効率化・最適化を進め、子どもを持つ母親、父親または介護が必要な社員が働きやすい職場づくりを目指す。

【対策】

- 4年 5月～ 「育休復帰支援プラン」の策定。育休を取りやすくなるよう、育休取得から復帰までの流れを明確にし、社内掲示板等を利用し周知を図る。
- 4年 7月～ 育休取得予定者に「育休復帰支援プラン」策定開始。取得をしたい人が相談できるよう、窓口を設け、育休取得の推進を図ると共に、策定したプランの実施をする。
- 4年 10月～ 女性活躍推進等について、管理職を対象とした研修を行う(年1回)

目標2：働きやすい職場、働きがいのある職場となるよう、仕事に向き合う社員のモチベーション向上を図る。それにより育児・介護をしながらも働くことができる会社を目指す。

【対策】

- 4年 4月～ 小集団活動を導入し業務の効率化を図る。このチームには準社員・パートを含む全員参加ができるよう活動時間を工夫する。
- 4年 6月～ 社内報のSNS活用に向けたプロジェクトチームを発足させる。それにより会社の強みや魅力、イベントをSNSで発信する事で、今まで知らなかった活動や会社の良さを発見してもらい、関心や共感をもってもらう事でモチベーションUPに繋げる。
- 5年 1月～ 社員アンケートもSNSで行えるよう検討する。現状の課題やかかれた問題をタイムリーに吸い上げ、フィードバックをインタラクティブに行う事で、改善のスピードを早くし働きやすい職場づくりを目指す。

目標3：地域社会への貢献度合いを高める。特に『働きたい応援団 ぎふ サポーター企業』登録企業の通り、特別支援学校の活動を支援し、ハンディキャップの子供達の自立の為の機会を提供する。

【対策】

- 4年 10月～ SNS 社内広報を導入し、支援学校の活動を広く社員や地域に周知する。(学校運営委員会の委員として会合に参加をし、内容・課題を周知しサポートの輪を広げる)
- 4年 5月～ 支援学校生徒の社会進出訓練の為にインターンシップ受け入れを図る。いつでもインターンシップに対応できるよう受け入れやすい環境と社内体制の準備をする。
- 4年 5月～ 学校内実習による販売活動サポート。生徒の実習で造ったお菓子屋作品を社員に買ってもらう事で、安心して生徒一人一人に合った実習カリキュラムを計画してもらえるようにする。